

英語科海外ホームステイ研修3日目の報告をお送りいたします。

※今回2校に分かれての研修のため、本日は Park Ridge State High School の情報を中心にお伝えしますが、明日以降、Corinda State High School の情報もお載せしていく予定です。

（Corinda の生徒たちも皆さん体調面問題なく、元気に研修に参加されているとのことです）

昨日に続き本日も快晴で、最低気温 8 度で最高気温は 26 度と温度差はありますが湿気がなく過ごしやすい気候の下、本格的な学校生活がスタートいたしました。ホストファミリーと一緒に登校してくる生徒たち、まだ恥ずかしそうに、はにかんだ笑顔でファミリーと会話をしながらの登校でした。英語にはもちろん苦戦している生徒がほとんどでしたが、家族とはコミュニケーションをしっかりと取ることができたようで皆さん笑顔で昨日の様子を話されていました。これには引率人も一安心といった状況で、これからどこまでこの関係を深化できるのか楽しみです。ちなみに Park Ridge のグランド(芝生)には朝、野良(野生?)カンガルーが遊びに来たそうで、星先生と生徒たち数名がその様子を目撃し、早速オーストラリアならではの光景を楽しまれました。

そして学校ではまずバディとの対面です。朝教室に行くとオーストラリア人の生徒(バディ)が待ち構えており、ホストスクールのインガ先生よりバディを紹介いただき、生徒それぞれに1対1 or 1対2で現地校生がついてくれました。今後ホストスクールで授業がある日は午前に英語の授業、そして午後はバディと一緒に現地校の授業に参加します。なお本日はバディが横にきて話しかけると、ほとんどの生徒は突然登場した同年代のバディに硬直した笑顔…で対応し、緊張の面持ちで交流が始まりました。固まる生徒たちでしたが、バディの案内で校内を見学し、その後、こちらでホームステイのコーディネーターもされるミシェル先生から英語の授業を受け、そしてその後ランチも含めまたバディと一緒に午後を過ごしました。今日見る限りバディたちはこちらがびっくりするほど面倒見がよく、シャイな生徒たちにも構わず話しかけてくれるので、すぐに仲良くなれるのではないかという様子で、本当に良い雰囲気でした。ただ少し慣れてきたらずっとバディに頼るのではなく、自分から話題を振るなど、こちらからも歩み寄って、本当の意味で相互の交流にしてもらいたいと思います。そこで今日は「終始相槌を打つだけだった」、「多くの時間固まってしまった」という生徒たちに、次にバディと会うときに何を話すのか“作戦を考える”ようアドバイスをいたしました。まだ研修は始まったばかりですが、ここから如何に行動をしていくことができるかで得られるものも変わってきます。幸い皆さん前向きに考え、ここでの生活をさらに楽しみにされた様子でしたので、明日以降、より積極的な様子が見られるようになるのではないかと期待が持てるスタートとなりました。それでは本日の報告は以上とさせていただきます。

■ バディと校内見学



■ 休み時間 (Morning Tea Time という時間です)



■ランチタイム

